

平成 27 年度地域密着型金融への取組状況（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月）

当金庫では「金融機関がお客さまとの間で親密な関係を長く維持することにより、お客さまに関する様々な情報を蓄積し、それらの情報をもとに地域の活性化に貢献できる融資等の取組みを行うこと」と定義される『地域密着型金融』の実現に向けて、お客さま一人ひとりのお声に耳を傾け、信用金庫の原点である「Face to Face」の関係強化に努めるとともに、下記のような取組みを行っております。

1. 取引先企業の経営支援に関する取組み

- 事業の資金繰りはもちろんのこと、企業の事業内容や成長可能性などの適切な評価（「事業性評価」）を踏まえ、各企業が抱える課題と向き合い、より良い解決方法の提案に努めるほか、当金庫では、不稼働設備、空き工場、空きスペース等のマッチングや知的財産等を再活用した産業活性化の支援活動（地域産業を育む活動）を『育みイズム』と称し、地域の地方公共団体等と連携して積極的な推進を図っております。
- 創業支援事業計画の認定を受けた「市」「商工会議所」「日本政策金融公庫」と連携し、創業されるお客さまを積極的に支援することで、地域産業の育成及び振興、雇用の創生を目指しております。また、医療・介護事業者の専門性の高い分野に関しましても、必要に応じて外部専門機関と連携する等、金融仲介機能の強化に取り組んでおります。
- お客さまの事業を資金面から積極的に支援するため、創業支援対応型融資「アシスト」、及び介護事業者向け大阪府制度融資「介護フレッチェ」の取扱いを継続するとともに、今後も引き続きお客さまの様々な資金ニーズに柔軟に対応できる商品ラインナップの充実に努めてまいります。
- 少子高齢化社会において重要度が増してくる医療・介護分野のお客さま向けセミナーを開催し、お客さまにとって有益となる情報や資料を積極的に提供する提案型の経営支援を行っております。
- 大阪府下の信用金庫が合同で行うビジネスマッチング等の企画・運営に積極的に参加し、取引先企業への情報提供や出展促進等、事業活性化に向けたサポート体制を整備しております。また、地元企業の後継者や経営幹部を対象とした「ひらしん若手経営者の会」の組織・運営を通じて、地元企業の育成とネットワークの形成、及び会員相互の連携強化に努めております。

2. 地域の活性化に関する取組み

- 地域の活性化に向けて、新たに地方創生推進室を設置し、庫内の態勢を強化するとともに、より一層強力に地域の持続的発展及び活性化を図るため、枚方市および京阪電気鉄道株式会社とそれぞれ包括連携協定を締結いたしました。今後は包括連携によるシナジー効果を高めつつ、より優れた金融サービス機能を発揮し、地域住民の定住・地域外からの転入促進を図るなど、地域の更なる発展のため積極的に行動いたします。
- 人口減少社会の到来を迎える中、地域の持続的発展に資するべく、お年寄から子育て世帯まで多くの方に愛され、次の世代へと「巡り住む(めぐりすむ)」街づくりの活動を『巡リズム』と称し、積極的に取り組んでおります。また、高齢者のお客さまが充実した生活を送るための資金としてご利用いただける、リバースモーゲージローン「あんしん」をご用意させていただいております。